令和8年度 重点的に取り組む施策の方向性について（案）

●令和8年度 こどもの貧困対策関連経費（重点施策推進経費）

令和7年度以降も引き続きこどもの貧困対策を総合的・計画的に進めるため「大阪市こどもの貧困対策推進計画（第2期）」を策定。こちらに掲げる4つの施策体系に基づくとともに、令和7年度に実施した事業で効果があった、または有効性が期待できる事業を重点施策推進経費として検討する。

《対象事業》

(1) 実態調査の詳細な分析を基に地域性を踏まえ、効果が高いと認められる事業

実態調査において確認された地域課題に対して施策を講じることにより、貧困の連鎖を断ち切ることに資するものとなり、その取組みをモデルとして同様の課題を抱える他区においても効果を得られると期待できるもの

(2) 実態調査により確認された課題を解決するために、全市的に実施することで効果が高いと認められる事業

実態調査において確認された課題解決のための支援策や、教育・福祉・就労などこどもの貧困に関する複合的課題を横断的に解決するための事業

(3) これまでに実施した重点事業を実態調査の結果をもとに効果検証し、こどもの貧困対策に効果が高いと認められる事業

これまでに実施した学習習慣の定着や居場所づくり、ひとり親世帯への支援策などの事業について、効果検証を行った結果、拡充または継続して実施することで、こどもの貧困対策への有効性を証明できる事業

(4) これまでに実施した重点事業を実態調査の結果をもとに効果検証し、新たな事業として再構築することによりこどもの貧困対策に効果が高いと認められる事業

これまでに実施した事業の検証の結果、新たな事業として再構築することにより、こどもの貧困対策に一層高い効果が期待できるもの

(5) こどもの貧困に関する新たな課題を解決するため実施する必要がある事業

実態調査以後の社会情勢の変化などにより、こどもの貧困に関する新たな課題を解決するため実施する必要があるもの

大阪市こどもの貧困対策推進計画(第2期)に基づく取組み

●計画の施策体系（4つの施策体系の相互連携と相乗効果）

1 学びの支援の充実

(1) 幼児教育・保育の無償化と質の向上を図る	(3) 学びを保障し、望む進路の選択ができるよう支援
(2) 一人一人の状況に応じた学力向上の取組を推進	(4) 多様な体験や学習の機会を提供

2 家庭生活の支援の充実

(1) 子育て家庭における養育や教育を支援	(3) ひとり親家庭等、特に支援が必要な家庭を支援
(2) こども・若者や子育て当事者の健康を守る取組を推進	

3 生活基盤の確立支援の充実

(1) 就業支援	(2) 施設退所者等の自立支援	(3) 仕事と子育ての両立支援	(4) 経済的な負担軽減を図る

4 つながり・見守りの仕組みの充実

(1) こども・若者や子育て当事者のつながりを支援
(2) 社会全体でこども・若者や子育て当事者を支援する取組を推進